

春の特別展 金井沢碑建立1300年記念

「金井沢碑 1300年の時を超えたメッセージ」関連行事 講演会③

「上野三碑と古代寺院」

上野国分寺への知識物としての瓦の寄進

講師：松田 猛 氏（群馬地域文化振興会理事）

5月17日(日)13:30～15:00

上野三碑と古代寺院について検討を加える中で、それぞれが上野国分寺跡から出土する軒丸瓦(のきまるがわら)や文字瓦(もじがわら)をとおして、深い関わりをもっていることがわかってきた。

そこで、上野国分寺の創建期に金井沢碑の「知識」にも通じる知識物として郡名や郷名が押印された瓦、次に修造期の多胡郡の郷名と人名を記した篋(へら)書き文字瓦、そして、山上碑の放光寺であることが明らかになった山王廃寺跡のものと同範(どうはん)の軒丸瓦について述べていく。



上野国分寺跡出土の
文字瓦「勢」(群馬県)

●会場：群馬県立歴史博物館 視聴覚室

●定員：140名

●参加費：参加費無料。ただし春の特別展観覧券が必要です。
※当日以外の春の特別展観覧券でもご参加いただけます。
(春の特別展観覧料(常設展も含む)：一般 800円)

●申込方法：以下のいずれかの方法による事前申込が必要です。(4月17日(金)受付開始)

○当館 HP または右 QR コードから入力フォームへアクセス

○電話(027-346-5522(開館日の 9:30～17:00))

※申込はフォーム、電話とも講演会前日の 17:00 までとなります。

(定員に達した場合は、早めに受付を終了することがあります。)

※状況により、内容に変更が生じる場合もあります。

講演会③ 入力フォーム



群馬県立歴史博物館

高崎市綿貫町 992-1 (群馬の森内)

TEL. 027(346)5522



ホームページ

